ゆめっせ通信

2022年10月1日 発行
No.21
田川市男女共同参画センター
電話0947-85-7134

ゆめっせ 子ども料理教室を開催しました

８月20日(土)に田川市内の小学生を対象に、ゆめっせ子ども料理教室を開催、１年生から４年生までの11名が参加しました。

昨年、一昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で中止となっていたため、３年ぶりの開催となりました。

田川市教育委員会給食調理員の池田智子さんと福智町立金田義務教育学校調理員の三浦俊祐さんを講師にお迎えし、給食のメニューで人気の「ドライカレー」と手軽な「パンナコッタ」を作りました。

今回は新型コロナ感染症対策のため、完成した料理は現地では試食せず、持ち帰りとしましたが、参加した子どもたちのアンケートでは、「たのしかった」「友だちができて良かった」「また料理がしたい」などの声があり、たいへん好評でした。

料理教室に参加した子どもたちが食に対して関心を持ち、料理することの楽しさを知ることによって、料理だけでなく家事全般に興味を持つきっかけとなれば良いですね。

家事を家族で分け合い、支え合うという意識が育まれば、幸いです。

目次

子ども料理教室……1
性の多様性を認め合える社会へ……2
大学生の職場体験学習……3
出前講座……3
ゆめっせフェスタ2022……4
男性の料理教室……4
女性リーダー育成研修会……4
編集後記……4

性の多様性を認め合える社会へ

「ＬＧＢＴ」という言葉を見聞きする機会が増えてきましたが、まだ正しい理解がされていないため、当事者の人たちが何気ない言葉に傷ついたり、誤解や偏見から差別を受けたり、自分らしく生きることが難しい状況にあると言えます。

性を男女のどちらかに分け、「異性を好きになること」が「ふつう」とされてきました。しかし、実際には、自分のカラダの性に違和感をもつ人や、同性を好きになる人、性別にこだわらない人、同性にも異性にも惹かれない人など、さまざまな人がいます。

性の要素（カラダの性・ココロの性・好きになる性）の組み合わせによって、様々なセクシュアリティ（性のあり方）が生まれます。また、性の要素は人それぞれであり、各々の要素でも、男か女かを分ける境目がどこにあるのかは、一人ひとりで異なります。

性のあり方は、虹のようにグラデーションで、人それぞれ多種多様です。

●「ＳＯＧＩ」とは？

近年、「ＳＯＧＩ」という言葉が用いられるようになってきました。「ＳＯＧＩ」は、性的指向（Sexual Orientation）と性自認（Gender Identity）の頭文字を並べた言葉で、多数派も含めたすべての人が共通して持っている属性で、一人ひとり異なる性のあり方があるという考え方を示しています。

●「ＬＧＢＴ」とは？

「ＬＧＢＴ」は、レズビアン（Ｌ）、ゲイ（Ｇ）、バイセクシャル（Ｂ）、トランスジェンダー（Ｔ）の頭文字を並べた言葉で、性的少数者（セクシュアルマイノリティ）の総称の一つです。

様々な調査によるとＬＧＢＴの人たちの割合は、約11人に１人と言われ、左利きの人やＡＢ型の人の割合と同程度とされています。多くの当事者の人たちは偏見や好奇の目に晒され、学校生活でのいじめを経験し、会社や地域社会での困難に直面しています。

同性を好きになったり、好きになるのに性別を気にしなかったり、心と体の性が一致していなかったり…、それは多様な性のあり方のひとつでしかありません。異性を好きになり、また心と体の性が一致しているというのも、そのあり方のひとつです。

現在の社会は、多数派である「異性を好きになる、心と体の性が一致している人々が暮らしやすい社会」、それが当たり前の社会となっています。このような当たり前の社会は当事者にとって「暮らしにくい社会」であり、「障壁」となって当事者を排除し、困難や苦しみの原因となっていると言えるのではないでしょうか。

性は多様であることを理解し、互いにその人らしさを認め合うことが大切です。

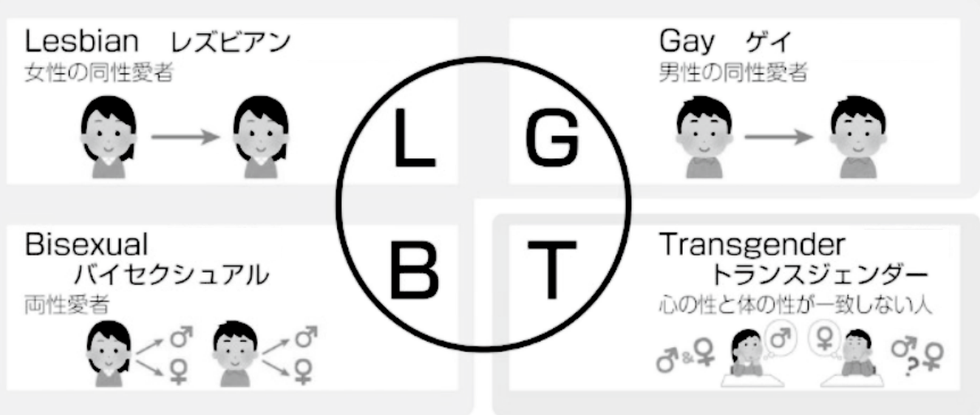
すべての人々が自分らしく生きていくことができる共生社会を実現するため、「自分たちの身近に人知れず苦しんでいる人たちがいるかもしれない。」という意識をもち、多様な性のあり方への理解を深め、私たち一人ひとりの行動に生かしていきましょう。

福岡県の取組

福岡県では、令和４年４月１日から「福岡県パートナーシップ宣誓制度」を開始しました。この制度により、双方又は一方が性的少数者のカップルが、県営住宅への入居申込など、本県の行政サービスを受けられるようになりました。

田川市の取組

本市では、令和４年３月に策定した「第２次田川市男女共同参画プラン後期計画」の中に、「性的少数者の権利を尊重する啓発の推進」「性的少数者に配慮した取組の推進」を具体的施策として掲げています。性的少数者に関する正しい理解を深めるための講座など啓発活動を行い、性的少数者に配慮した取組を進めていきます。



大学生が体験学習を行いました

福岡県立大学人間社会学部公共社会学科１学年の中田青来さんが、８月15日(月)～19日(金)の間、男女共同参画センターで職業体験学習を行いました。５日間という短い期間でしたが、実際に働く現場に触れ、男女共同参画事業や女性相談事業、及び男女共同参画センターの管理・運営などについて理解を深めました。また、学習初日に与えられた課題について考察し、その内容を資料にまとめ、学習最終日に職員の前で発表を行いました。

この体験学習を通して、受入れ側も若い世代の意見を聞くことができ、貴重な機会となりました。発表で出された意見などは、今後の事業運営にいかしたいと思います。

体験日誌から

○皆さんの働く姿から多くのことを学びました。仕事の理解度が高く、互いに協力し、何事も臨機応変に対応されていたのを見て、私も大学生活で培っていきたいと思いました。

○男女共同参画という言葉をイメージでしか捉えられておらず、正しく理解できていなかったのだと気づきました。男女共同参画の参画とは、事業などの計画段階から主体的に関わることであり、参加とは異なることを初めて知りました。今後、大学のサークルでイベントなどに取り組む際には、計画段階から参加したいと思います。

出前講座を実施しました

福岡県立大学から社会調査実習の特別講師としての依頼があり、５月19日(木)に同大学人間社会学部で出前講座を実施し、25人が参加しました。

ほとんどの学生が見やすい資料の作り方でわかりやすかったという感想でした。これを機に、大学生と協働で若者向けの啓発事業を実施できたらいいなと思いました。

＜男女共同参画出前講座　募集中＞

田川市男女共同参画センターでは、市民のみなさんに楽しく男女共同参画について学んでいただくために、出前講座を実施しています。

地域やサークルの学習会や職場の研修等にお気軽にご利用ください。

テーマの例：「男女共同参画ってなに？なぜ必要？」「イクメン、イクボスって？」「ワーク・ライフ・バランスについて知りたい！」「固定的性別役割分担意識って？」

対　　象：田川市に在住、通勤、通学されている概ね10人以上の団体

日　　時：平日の午前９時から午後９時までの間で２時間以内

場　　所：田川市内。会場は申し込まれた団体でご用意ください。

講　　師：田川市男女共同参画センター長

講 師 料：無料

申込方法：受講希望日の１か月前までにご連絡ください。

なお、人数、日時については、上記に当てはまらなくても対応できますのでご相談ください。別の会議等と組み合わせたミニ講座も開催できます。

※出前講座の実施は地域貢献活動評価項目の対象です。

ゆめっせフェスタ 2022

6月18日(土)、田川青少年文化ホールで「ゆめっせフェスタ2022」を開催し、約190人が来場しました。第29回目となる今回も、昨年と同様にコロナウイルス感染症の影響で、講演のみの実施となりました。

講師には、産前産後の家族に寄り添う活動を行っている、株式会社アイナロハ代表取締役の渡邊大地さんをお迎えし、「今日から、もっと家族が楽しくなる！だから、家族で話そう」をテーマに講演をして頂きました。

実体験を基にしたお話は、理解しやすくまた、説得力のある内容で、多くの人から、気づきや今後の指針が得られたという感想がありました。

◀講師の
渡邊大地さん

参加者の声

○男性目線の話が聞けて参考になった。パートナーとの意見交換がとても大切だなと感じた。
○改めて考えさせられる部分が多くあった。
○日本社会において、家族の優先順位を１位に考えている人が何人いるだろうか？家族を１番に考えるようにしたい。

女性リーダー育成研修会

「知りたい！コロナ禍を乗り越えて生きる力」

令和３年度は、女性リーダー育成研修会を３月11日(金)に開催し9人が参加しました。

今回の研修会は、市男女共同参画審議会会長の井上奈美子さん（福岡県立大学准教授）がインタビュアーとなって、倉成洋子さん（倉成社会保険労務士事務所所長）に子育てや地域活動、経営者としての日常について、実体験を聞き出しました。

女性がリーダーになるには女性自身の意識改革だけでなく、周りの男性リーダー達の意識も変える必要があります。女性も男性も一緒に男女共同参画について学べるような研修会を考えていきたいと思います。

参加者の声

○これからも自分らしく生きていくことを楽しんでいきたいと思った。
○何もかも自分が引き受けてしまうことは「メンバーの成長のチャンスを奪う」と考え、任せることを意識したい。
○自分の分身を育てること、がむしゃらに働かないなどできることから始めていきたい。

男性の料理教室

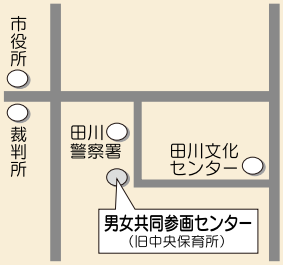
3月23日(水)に、田川市民会館で「男性の料理教室」を開催し、11人が参加しました。福智町学校給食調理員の三浦俊祐さんを講師に迎え、災害時の調理にも使え、時短にもなるパッククッキングや備蓄食品を使用した料理を作りました。

パッククッキングとは、ポリ袋に食材を入れ、袋のまま鍋で湯せんする調理方法です。参加者全員が貴重な体験をすることができました。

今回は、新型コロナウイルス感染予防対策で、料理の試食はせず、持ち帰っていただきました。今後も予防対策に留意しながら、皆さんが楽しんで料理できるような企画を考えていきます。

＊メニュー＊
鯖缶のそぼろ丼、
じゃがいものさっぱり煮など

編集後記

新型コロナウイルス感染症の終息は見通せず、ウィズコロナ時代の新しい生活様式を模索中の今日この頃です。
私たち男女共同参画センターでは、「男女が共に認め合い、互いに支え合い、自分らしく生きる」田川市の実現のために、感染防止対策に万全を期して様々な啓発を行っていきます。今後とも男女共同参画の推進に、ご協力をお願いします。(大)

編集・発行　田川市男女共同参画センター
〒826-0032　田川市平松町3番36号
電　話　0947－85－7134
ＦＡＸ　0947－44－0888
E-mail：danjo@lg.city.tagawa.fukuoka.jp
Ｈ　Ｐ：http://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/list00794.html
印　刷　㈲川崎印刷